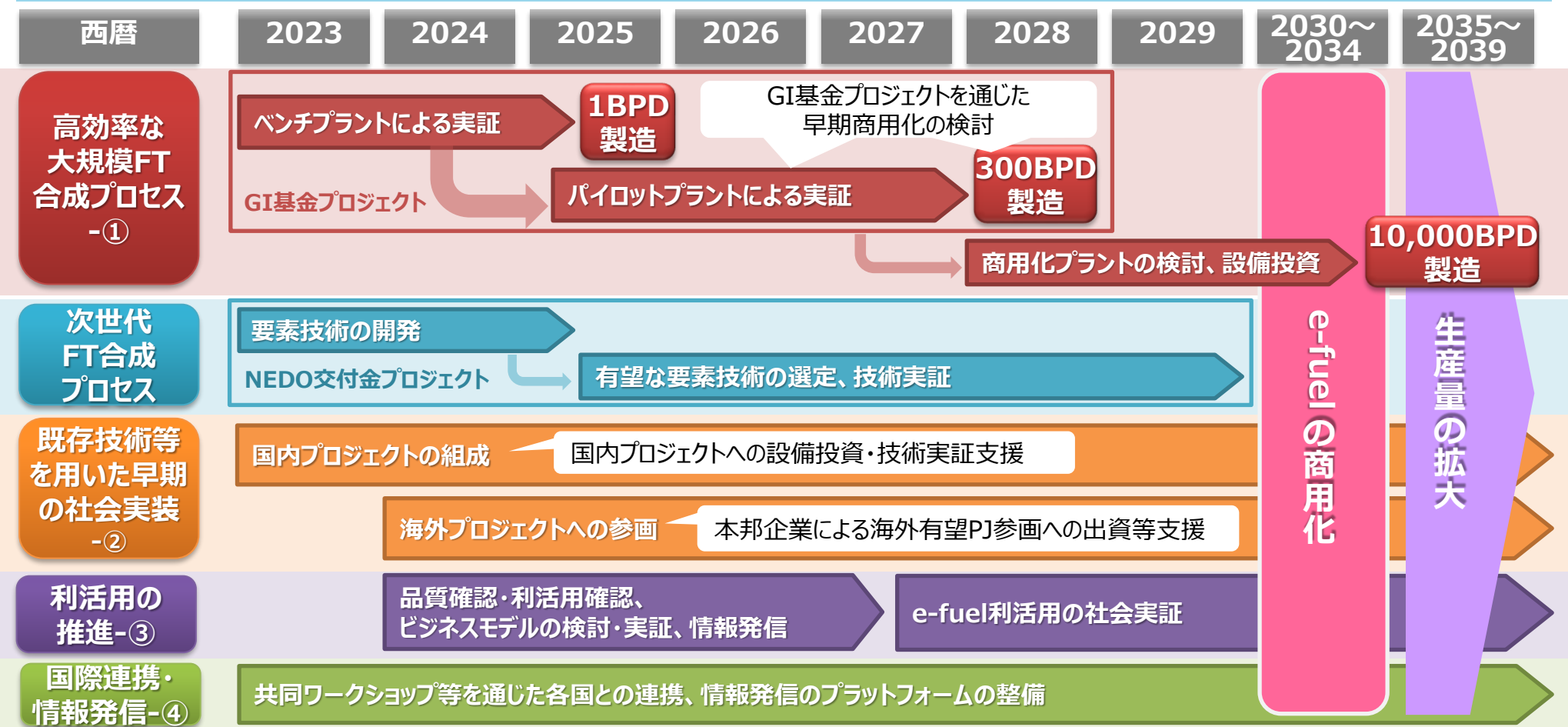


合成燃料（e-fuel）の商用化に向けたロードマップ（改定版）

- 現行のGI基金事業（高効率な大規模FT合成プロセス） についての支援の拡充を検討。（①）
- 既存技術等を用いて早期供給を試みる事業者の設備投資等（②）や、ビジネスモデルの確立に向けた実証（③）への支援を検討。
- 併せて、各国との連携や情報プラットフォームの整備を推進。（④）



➡ **2025年に製造を開始し、「2030年代前半までの商用化を目指す」**
更なる加速化も視野に不断の努力を継続